

TOEFL-ITP 試験対策講座（水木ゼミ）を実施します！

【第2回：3/23 実施予定，第3回：4/4 実施予定】

このたび，水木ゼミとして，再度 TOEFL ITP 試験対策講座を1回完結型で実施することになりました。本講座では，ITP 試験の中でも最もスコアの伸びが期待できる文法パート（Part2）について，その具体例や解法のヒントなどを学びます。今まで TOEFL-ITP 試験を受けた事がない学生から，ITP 試験の常連者まで，幅広い方々からの申し込みを受け付けています。参加者全員でスコアアップを目指しましょう！

※なお，本講座は受講料無料ですが，当日は以下に記載の TOEFL-ITP テスト公式問題集を使用しますので，必ずご持参ください。

対象者	① TOEFL-ITP 試験に興味を持つ学生または次回 ITP 受験者 ② 交換留学応募等で ITP のスコアが必要な学生 ③ 今後英語力向上に必要な基礎を身に付けたい学生
担当教員	日本大学 総合科学研究所 水木ピーター准教授
講座実施日時 場所	第2回：平成 29 年 3 月 23 日（木）午前 10 時 30 分～午後 12 時 30 分（2 時間） 日本大学本部（市ヶ谷）6 階 601A 会議室 第3回：平成 29 年 4 月 4 日（火）午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分（3 時間） 日本大学本部（市ヶ谷）会議室未定 アクセス： http://www.nihon-u.ac.jp/international/guide/access_map/
受験料	無料。ただし，以下の TOEFL-ITP テスト公式問題集を使用するため，講座当日までに準備しておくこと。 「TOEFL ITP®テスト 公式テスト問題&学習ガイド」 http://www.ciee-onlineshop.jp/fs/cieeonlineshop/itp/official-guide-itp
申込方法	こちらからエントリーしてください。【 申込フォーム 】
申込締切日	第2回：平成 29 年 3 月 20 日（月）締切 第3回：平成 29 年 3 月 30 日（木）締切
受講決定者の発表	申込締切後，一両日中に受講許可・不許可について登録先メールアドレスにご連絡いたします。
問い合わせ先	学務部国際交流課 03-5275-8116 int@nihon-u.ac.jp
講座概要	次ページをご参照ください。
その他	指定テキストの中で，扱って欲しい問題があれば申込フォームに記入してください。

TOEFL-ITP 文法セッション攻略 (入門編)

交換留学応募等で ITP のスコアが絶対に必要な方、今後英語力向上に必要な基礎を身につけたい方向けに ITP 受験直前期からの勉強で最もスコアの伸びが期待できるパートとその具体例、解法、に関して 1 回完結の **informative session** を行います。

ITP の 3 パートの中で、最も早い時期にスコアの上昇が始まるのが **Part 2** の文法パートです。日本の大学受験レベルの文法規則を学び、それを正確に適用すれば正解できる問題です。本セッションでは、1 問につき 2 秒で正解が出せること、30 秒で正解の根拠が言えることを目標ラインとして訓練します。

TOEFL-ITP Test Taker Handbook (ETS¹)にあるサンプル問題を解いてみましょう。

(Sample 1)

Geysers have often been compared to volcanoes _____ they both emit hot liquids from below the Earth's surface.

- (A) due to
- (B) because
- (C) in spite of
- (D) regardless of

(ETS の解説)

The sentence should read, "Geysers have often been compared to volcanoes because they both emit hot liquids from below the Earth's surface." Therefore, you should choose, answer (B).

(直訳: この文は「間欠泉はしばしば火山と比較される。その理由は、それらは両方とも地球の表面下から温度の高い液体を排出するからである。」と読むべきである。よって(B)を選ぶべきである。)

(攻略のポイント)

- Step 1** 空欄の後 they が主語、emit が意味は分からなくても高い確率で動詞。
- Step 2** hot liquids は意味がわからなくても、高い確率で名詞。動詞の直後に来る名詞は目的語か補語。
- Step 3** 後に「主語+動詞(+目的語/補語/修飾語句)のそろった「完全文」すなわち「そこだけ取り出しても文が成立する部分」の前に来られるのは接続詞。
- Step 4** 接続詞は(B)のみ。他は全て前置詞。
- Step 5** 正解は(B)。

¹ TOEFL 製作機関の Educational Testing Service

この **step 1~5** までのプロセスを 2 秒程度でできるようになるまで訓練します。 **step 3** がポイントになりますので、知らなかった人はこれを機に知りましょう。

(Sample 2)

Refrigerating meats _____ the spread of bacteria.

- (A) retards
- (B) retarding
- (C) to retard
- (D) is retarded

(ETS の解説：なし)

(攻略のポイント)

Step 1 Refrigerating meats のあとに完全文がないことからこれは動名詞句で、意味は、「肉を〇〇すること」。文頭の名詞相当語句は主語。動名詞は 3 人称単数扱い。

Step 2 その直後に来る空欄に必要なのは動詞。

Step 3 動詞は(A)のみ。3 単現 s もついていてバッチリ。

Step 4 正解は(A)。

この **step 1~4** までのプロセスを 2 秒程度でできるようになるまで訓練します。 **step 1 と 2** 「主語の後に動詞が来ること」がポイントポイントになりますので、知らなかった人はこれを機に知りましょう。

直訳：肉を冷蔵することは、バクテリアの拡散を遅らせる。

豆知識：tarde(スペイン語) = late (英語)

retard O O を遅らせる

ポイントは何? 2 秒以内でどうぞ(解説は本セッションの最初に行います。)

(Sample 3)

Serving several term in Congress, Shirley Chisholm became an important United States politician.

A B C D

(Sample 4)

Guppies are sometimes call rainbow fish because of the male's bright colors.

A B C D

「知っている」ことと「できる」ことの間には、ちょうど「ピアノコンサートを見たことがある」ことと「コンサートでピアノが弾ける」ことぐらいの違いがあります。参考書を読んでも、辞書を引いても、授業に出ても、思うような力がつかなかった皆様、1日で「知らない」から「知っている」そして「できる」ところまで行くことを経験してみましよう。人によっては全く未知の世界を知っていただくことになるでしょう。

設問をその場で解きながら、正解の根拠を説明することを意識していただく、緊張感ある時間で、つい後回しにしていた英語の勉強の遅れを1日で取り戻す。そして、これからはこうすればいいんだ、という英語学習モデルを体験して身につける。そういう1日を過ごしたい方にとっては最高の1日になります。

当日は下記書籍を使用します。ITP 唯一の公式問題集で、試験全体の紹介から、語学学習の基礎部分、リーディング、リスニングパートといった文法パート以外の部分、そして力試しの模試 1 回分が収録されています。まずはこれを何度も暗記するまで解くこと、そしてその過程で発見した弱点を別の書籍や記事等で補いながら勉強します。人によっては予備校やインターネット上のサービス等を利用される方もいるかもしれませんが、そもそも自分が何を必要としているかを先に知ることが重要です。それを知るための TOEFL ITP 第一歩として、まだ公式問題集を暗記するまで繰り返したことがない方はここから始めましよう。

